

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	夏休みファーマカレッジ 2022					
研究組織	代表者	所属・職名	薬学部・教授		氏名	轟木 堅一郎
	研究分担者	所属・職名	氏名		所属・職名	氏名
		薬学部・教授 薬学部・准教授 薬学部・講師	浅井 知浩 小出 裕之 米澤 正		薬学部・教授 薬学部・准教授 薬学部・講師	伊藤 邦彦 井上 和幸 辻 大樹
		薬学部・助教 薬学部・助教	杉山 栄二 古庄 仰		薬学部・教授 薬学部・助教 薬学部・助教	原 雄二 鈴木美希 村上 光
		薬学部・教授 薬学部・講師 薬学部・講師	渡辺 賢二 佐藤 道大 岸本 真治		薬学部・教授 薬学部・准教授 薬学部・講師 薬学部・助教	眞鍋 敬 小西英之 岩本憲人 山口深雪
		薬学部・教授 薬学部・准教授 薬学部・助教	近藤 啓 金沢 貴憲 照喜名 孝之		薬学部・教授 薬学部・准教授 薬学部・助教	濱島義隆 江上寛通 山下賢二
		薬学部・教授 薬学部・准教授 薬学部・講師 薬学部・講師	賀川 義之 宮寄 靖則 内野 智信 大澤 隆志		薬学部・教授 薬学部・講師 薬学部・助教	梅本英司 黒羽子孝太 中西勝宏
		発表者	所属・職名	薬学部・教授		氏名

講演題目	夏休みファーマカレッジ 2022
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>夏休みファーマカレッジは、高校生が大学教員から直接指導を受け科学実験を行う中で、科学的なものの見方を養い、科学に接する喜びを体験することにより、科学に対する興味や理解を深め将来の夢や希望を育てることを目的とするものである。また、静岡県内の高校生を対象とすることで、県民に開かれた大学のイメージが広がるとともに、本学への入学希望者が増えると期待される。さらに、実験指導の補助を通して、大学院生や学部学生の教育・社会活動への参加なども達成される。今回は「くすりが効くか遺伝子から予測しよう」、「ノーベル化学賞を取った反応を実際に体験!」、「先端技術で分子の在り処を可視化しよう」など全10テーマを用意し、公募により選抜された県内高校生40名を受け入れた。本企画は8月3日と4日の両日に薬学部の実施研究室および講義室、実習室などで開催された。4日午後にはテーマごとに研究成果発表会を行い、尾池学長にもご臨席いただいた。参加者アンケートの結果も大変好評であり、科学と薬学に対する理解と興味が深まったことが伺えた。</p> <p>本企画の様子は全学や薬学部のHP、また8月5日付の静岡新聞でも紹介された。発表会の様子は個人情報保護に留意した上で動画撮影し、選抜に漏れた多くの高校生にも期間限定でオンデマンド配信することで研究内容や雰囲気を疑似体験できるよう工夫した。</p> <p>今年度は多数の参加申込があったにも関わらず新型コロナウイルス感染症対策の観点から、従来の半数の40名の定員にて実施することとなった。次年度は従来の80名での定員に戻し、より多くの高校生に本企画を体験してもらえることを強く願うものである。</p>